

2023  
BEST  
FACULTY  
MEMBER



*University of Tsukuba*

# 2023 BEST FACULTY MEMBER

人文社会系	松島 みどり	准教授	.....	1
人文社会系	土井 裕人	助教	.....	2
ビジネスサイエンス系	山田 雄二	教授	.....	3
数理物質系	山崎 剛	准教授	.....	4
数理物質系	山岸 洋	助教	.....	5
システム情報系	飯塚 里志	准教授	.....	6
システム情報系	金川 哲也	准教授	.....	7
システム情報系	境野 翔	准教授	.....	8
システム情報系	PHUNG-DUC TUAN	准教授	.....	9
生命環境系	上條 隆志	教授	.....	10
生命環境系	三浦 謙治	教授	.....	11
人間系	井田 仁康	教授	.....	12
人間系	岡田 昌毅	教授	.....	13
人間系	唐木 清志	教授	.....	14
体育系	佐藤 貴弘	教授	.....	15
芸術系	小山 慎一	教授	.....	16
芸術系	直江 俊雄	教授	.....	17
医学医療系	西山 博之	教授	.....	18
医学医療系	山崎 正志	教授	.....	19
医学医療系	岩上 将夫	准教授	.....	20
医学医療系	平野 有沙	助教	.....	21
図書館情報メディア系	森嶋 厚行	教授	.....	22
計算科学研究センター	建部 修見	教授	.....	23
生存ダイナミクス研究センター	深水 昭吉	教授	.....	24
生存ダイナミクス研究センター	柳沢 裕美	教授	.....	25
国際統合睡眠医科学研究機構	柳沢 正史	教授	.....	26

# 松島 みどり 准教授

所属 人文社会系

専門分野 開発  
政策評価  
医療経済学  
政策  
健康の社会決定要因



## — 業績 —

母子の公衆衛生及び健康保健に関する研究について、学会誌2本、国際学術雑誌4本、紀要2本の計8本が刊行されたほか、科研費1件に加えて民間財団の研究助成3件の計4本の外部資金を獲得した。

また、国内では茨城県取手市の妊産婦・子育て女性の健康づくり事業推進委員などを務め、専門的見地からアドバイスをを行い、海外では世界の貧困問題改善に取り組む認定NPOの外部評価委員を務めるなど、本学の社会的評価の向上に寄与している。

## 略歴

大阪商業大学助教、専任講師等を経て、平成31年4月より現職。令和4年4月～現在、社会・国際学群長特別補佐。

# 土井 裕人 助教

所属 人文社会系

専門分野 宗教学



## — 業績 —

新プラトン主義の哲学・思想について、日本の哲学者における受容と人文情報学の応用を中心に、査読付き学術論文4報、査読中1報、学会発表2件等の業績を挙げた。学内では教学デザイン室員としてつくば型チュートリアル学修の企画・運営に尽力するとともに大学経営推進局アソシエイトも務めるなど、哲学・思想の立場ならではの貢献をしながら、自身の研究として反映・統合していくサイクルを構築しつつある。

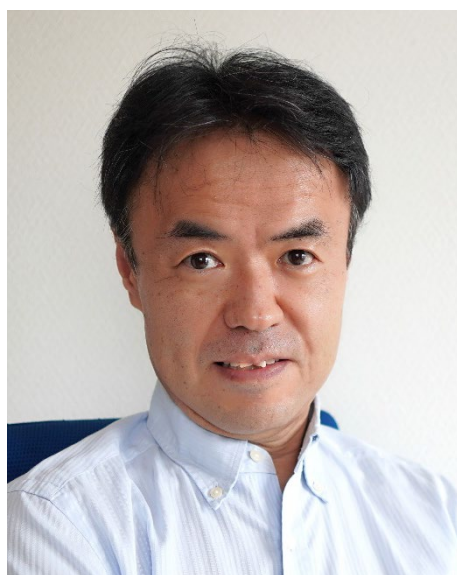
## 略歴

日本学術振興会特別研究員PD等を経て、平成21年9月より現職。平成29年4月、文部科学大臣表彰科学技術賞（理解増進部門）を受賞。

# 山田 雄二 教授

**所属** ビジネスサイエンス系

**専門分野** 計量ファイナンス  
コーポレートファイナンス  
金融工学



## — 業績 —

ファイナンス工学、コーポレートファイナンス、電力市場の研究に取り組み、その成果を国際学術誌及び国際会議で査読付き論文として発表するなど、ファイナンス分野の研究で主導的な役割を果たしている。また、産学連携活動においても、研究代表者や分担者として企業との共同研究を積極的に推進している。さらに、研究代表者として科研費基盤研究（A）を継続的に遂行するとともに、国際雑誌Energiesの編集委員として特集号の編集を行うなど、学术界に対しても大きく貢献している。

## 略歴

日本学術振興会特別研究員（PD）、カリフォルニア工科大学ポスドク研究員、筑波大学大学院ビジネス科学研究科助教授等を経て、平成25年4月より現職。令和5年8月より、一般社団法人日本金融・証券計量・工学学会（JAFEE）の会長を務める。

# 山崎 剛 准教授

所属 数理物質系

専門分野 素粒子理論



## — 業績 —

PACS Collaboration に基づく共同研究体制のもと、スーパーコンピュータ「富岳」などを利用し、2+1フレーバー格子QCDにおけるマスターフィールドシミュレーションと呼ばれる大規模な計算を先導的に推進しており、権威ある国際会議Lattice 2022を含む査読付き論文7件を出版し、国際会議での発表も4件行った。また、「第9回成果報告会における HPCI 利用研究課題優秀成果賞」を受賞するなど顕著な業績を挙げた。

## 略歴

理化学研究所BNL研究センター研究員、コネチカット大学ポスドクフェロー、名古屋大学基礎理論研究センター特任助教等を経て、平成26年4月より現職。

# 山岸 洋 助教

**所属** 数理物質系

**専門分野** 有機化学  
結晶工学  
光工学  
レーザー工学



## — 業績 —

非平衡系を利用した巨大で精緻な分子集合体の構築とその光機能の開拓を世界に先駆けて展開した顕著な研究業績が高く評価され、将来の活躍が期待される若手研究者に授与される賞である高分子研究奨励賞、PCCP Prizeなどを受賞した。また、ScienceをはじめとしたIFが10以上の学術誌への掲載4本を含む8本の論文の発表を行うなど、質の高い成果を出し続けている。さらに、研究代表者として複数の外部資金を獲得している。

**略歴** 日本学術振興会特別研究員を経て、平成30年4月より現職。

# 飯塚 里志 准教授

**所属** システム情報系

**専門分野** 知覚情報処理  
マルチメディア・データベース



## — 業績 —

独自の発想にもとづく深層学習モデルを駆使して、世界的にも突出した動画コンテンツ修復技術を確立したことが評価され、文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞した。一連の研究成果は、分野でのトップジャーナルおよび複数の最難関カンファレンスに採択されており、その中の一件は最先端のAI技術として認められ、現在も日本科学未来館で常設展示されている。さらに、神奈川県川崎市の100周年プロジェクトにおける記録写真のカラー化など、実社会の問題に対しても研究成果を積極的に展開して貢献している。

## 略歴

早稲田大学理工学術院総合研究所研究院講師、筑波大学システム情報系助教等を経て、令和4年9月より現職。



# 金川 哲也 准教授

所属 システム情報系

専門分野 流体力学  
数理物理・生体力学



## — 業績 —

専門である流体力学の理論解析の観点から、気液混相流中における超音波の非線形伝播を記述する数理モデルを構築し、基礎研究の成果を医療等の応用へと展開した。Q1ジャーナルに責任著者として多数の論文を発表し（国際共著を含む）、国内外での基調・招待講演も行っている。文部科学大臣表彰若手科学者賞「気泡流中の圧力波を記述する非線形波動方程式の理論的研究」を始め、流体力学分野の若手登竜門である日本流体力学会竜門賞等を受賞し、多様な学会から高い評価を得ている。科研費（着任以来途切れず受給）やNEDO若サポ等に代表者として採択されている。

## 略歴

日本学術振興会特別研究員DC・PD、筑波大学システム情報系助教を経て、令和4年12月より現職。

# 境野 翔 准教授

**所属** システム情報系

**専門分野** 知能機械学・機械システム  
制御・システム工学  
電力工学・電力変換・  
電気機器



## — 業績 —

人と機械を結ぶバイラテラル制御の応用分野において世界を代表する研究者であり、様々な技術を開発し多くの応用分野を開拓している。その業績により、数千件の国際会議投稿論文の中から1件のみ選ばれるIEEE IES Best Conference Paper Awardを受賞した。また、世界最大のロボット展示会である国際ロボット展iREXに出展し、開発した技術の公表・普及に積極的に取り組んでいる。

## 略歴

日本学術振興会特別研究員、埼玉大学大学院理工学研究科助教を経て、平成31年4月より現職。

**所属** システム情報系

**専門分野** 数理情報学  
社会システム工学・  
安全システム



### — 業績 —

13本の査読付き論文の発表及び2件の国際会議論文の発表に加え、指導学生が学長表彰や筑波大学校友会江崎賞受、その他学会でも賞を受賞しており、研究・教育両面において優れた実績をあげている。

また、複数の国際会議の企画運営を行っているほか、日越大学の運営委員を務めており学術分野においても大きく貢献している。

### 略歴

日本学術振興会特別研究員、東京工業大学助教、筑波大学システム情報系助教を経て、平成31年1月より現職。

# 上條 隆志 教授

**所属** 生命環境系

**専門分野** 生態学・植生学  
森林科学



## — 業績 —

伊豆諸島の自然保護と自然の持続的利用の分野において精力的に研究を展開し、2023年に査読付き論文9編、著書4編を発表した。教育活動では、感染予防対策と教育機会平等性を両立させた教育手法の充実に努めた。

また、伊豆大島ジオパーク推進委員会学識委員、つくば市生物多様性つくば戦略策定懇話会座長、林野庁小笠原諸島森林生態系保護地域部会委員等として政府機関や自治体との連携を含めた活動を行い、研究と連携した社会貢献に寄与した。

## 略歴

筑波大学大学院生命環境科学研究科講師、准教授等を経て、平成25年4月より現職。令和5年4月～現在、理工情報生命学術院生命地球科学研究群山岳科学学位プログラムリーダー。

# 三浦 謙治 教授

**所属** 生命環境系

**専門分野** 植物分子・生理科学  
応用分子細胞生物学



## — 業績 —

ゲノム編集技術など最先端のバイオテクノロジー技術を用いて植物科学の応用を見据えたハイレベルな基礎研究を展開し、Nature 姉妹誌を含め、合計8報の査読付き論文を発表した。

また、複数の学会の代議員等を務めるほか学内においても系の戦略室員や学長補佐等を務めている。

さらに、つくば機能植物イノベーション研究センターにおいては、センターの基盤をなす研究技術の向上に大きく貢献している。

## 略歴

筑波大学生命環境系助教、准教授等を経て、平成28年6月より現職。令和3年4月～現在、学長補佐、令和4年4月～現在、理工情報生命学術院生命地球科学研究群生物学学位プログラムリーダー。

# 井田 仁康 教授

**所属** 人間系

**専門分野** 教科教育学  
人文地理学  
科学教育



## — 業績 —

人間系長、大学執行役員として人間系及び大学全体の運営に貢献した。社会科教育学者としてだけでなく地理学者としても多数の著書及び論文を発表したほか、シンポジウムのオーガナイザー等も務めている。

また、中等社会科教育学会会長、日本社会科教育学会副会長、日本地理教育学会理事等複数の学会において要職を務めており、専門分野において学術的に貢献した。

## 略歴

上越教育大学助手、講師、助教授、筑波大学教育学系助教授等を経て、平成18年8月より現職。令和3年4月～現在、人間系長。

# 岡田 昌毅 教授

所属 人間系

専門分野 キャリア心理学  
産業・組織心理学



## — 業績 —

働く人への心理支援開発研究センターを創設し、センター長として、“働く”に関する学術的知見を社会還元することで、センターのマネジメントを精力的に行い、その事業規模の拡大に寄与してきた。また、学群入学試験実施委員会副委員長、人間総合科学学術院副学術院長、カウンセリング科学学位プログラムリーダーとして学内運営に貢献している。学外においては、厚生労働省キャリアコンサルタント登録制度等に関する検討委員会委員等の職を兼務し、学識経験者の立場から多大な貢献を行っている。

## 略歴

新日本製鐵(株)、新日鉄ソリューションズ(株)。筑波大学人間系教授（現職）、人間総合科学学術院副学術院長、カウンセリング科学学位プログラムリーダー（現職）、働く人への心理支援開発研究センター長（現職）。産業・組織心理学会会長。キャリアコンサルティング協議会会長（現職）。

# 唐木 清志 教授

所属 人間系

専門分野 社会科教育学



## — 業績 —

社会科教育を中心に、教育改革を牽引できるような研究に数多く関与し、日本公民教育学会の学会プロジェクトにおいて代表者として企画運営を行うなど研究学会における活動を行ってきた。

また、日本公民教育学会会長、日本社会科教育学会副会長のほか、日本教育学会、全国社会科教育学会、日本カリキュラム学会では理事を務めており、学内では、グローバル教師力開発推進室長、全学学群教職課程委員会委員長を務め学内外において多大な貢献を行っている。

## 略歴

静岡大学助手、講師、助教授、筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授等を経て、平成29年6月より現職。令和2年4月～現在、グローバル教師力開発推進室長。



# 佐藤 貴弘 教授

**所属** 体育系

**専門分野** 身体教育学  
教科教育学  
特別支援教育



## — 業績 —

比較教育学、体育科教育学、保健科教育学、スポーツ国際開発学、留学生研究、コーチング学、アダプテッド体育の7領域の学問分野にわたる国際学術論文14編及び国内学術論文2編を発表し、また会議発表も多数行ったほか科研費として採択された2件のプロジェクトが国際学術ジャーナルに掲載された。

学内においてはスポーツ国際開発学共同専攻長および学長補佐室員を務め、学外では、複数の国際学術ジャーナルのEDITORIAL BOARDを務めた。

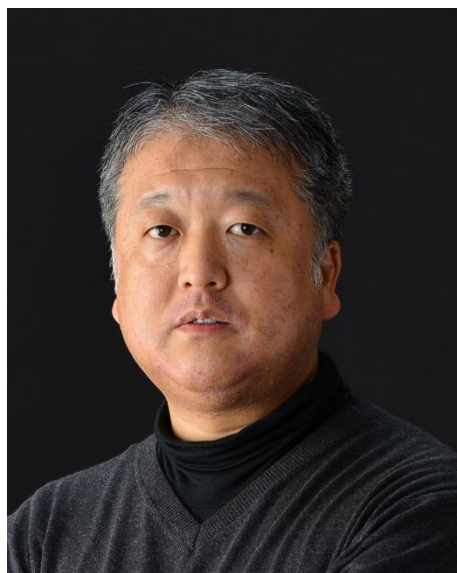
## 略歴

歴史的黒人大学ハンプトン大学講師、ケント州立大学講師、准教授を経て、令和元年7月より現職。令和4年4月～現在、学長補佐。

# 小山 慎一 教授

所属 芸術系

専門分野 デザイン学  
実験心理学  
感性科学



## — 業績 —

科研費基盤研究B、日本学術振興会「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」等の助成を受け、感覚多様性とデザインの研究、医薬品情報表示デザインの研究等を推進し、Scientific Reports等の著名な国際学術誌で研究成果を発表している。着任後の7年間で4名の大学院生が学会で優秀発表賞を受賞するなど優れた教育成果を挙げており、日本学術会議小委員会委員、日本感性工学会理事、小・中・高校生を対象にした授業など、社会貢献活動にも熱心に取り組んでいる。

## 略歴

ハーバード大学医学部附属マサチューセッツ総合病院リサーチフェロー、日本学術振興会特別研究員、千葉大学助教、准教授等を経て、平成29年4月より現職。

# 直江 俊雄 教授

所属 芸術系  
専門分野 教科教育学



## — 業績 —

芸術専門学群で2005年より主催している、高大連携のコンテストである高校生アートライター大賞を発案し、その企画、広報、募集等全ての運営に主体的に携わっている。

高大連携事業として有効かつ波及性のあるコンテストを企画し、継続して主体的に運営することにより本学の認知度を高めることに貢献したほか、教育社会連携推進室長として本学の社会貢献・高大連携事業などの運営に寄与した。

## 略歴

宇都宮大学講師、助教授、筑波大学大学院人間総合科学研究科助教授等を経て、平成26年4月より現職。令和2年4月～現在、教育社会連携推進室長。

# 西山 博之 教授

所属 医学医療系  
専門分野 腎泌尿器外科学



## — 業績 —

2020年よりバイオ分野の国内2拠点の創出を目指す政策重点課題であるJST COI-NEXT「つくばデジタルバイオ国際拠点」プロジェクトリーダーとして、産官学連携研究体制の場の構築を行っており、プロジェクトの維持、発展及び本学の国際化に大きく貢献した。

また、つくばスマートシティ協議会理事として、つくば市が主導するスーパーサイエンスシティ構想の医療分野において産官学連携下の実証研究の立案を主体的に行っている。

## 略歴

京都大学助手、講師、准教授等を経て、平成23年4月より現職。平成30年4月～現在、附属病院副院長。

# 山崎 正志 教授

**所属** 医学医療系

**専門分野** 整形外科  
脊椎脊髄外科  
脊柱靱帯骨化症の病態解明  
脊髄再生医療  
骨軟骨再生医療  
新規インプラントの開発  
ロボットリハビリテーション  
スポーツ医学



## — 業績 —

臨床医学域の整形外科グループのリーダーとして、附属病院を中心とする茨城県全域の医療機関における整形外科疾患の診療を統括している。また、ロボットスーツHALを用いた機能再生治療の医師主導型臨床試験をはじめとした多くの臨床研究を行った。

つくばスポーツ医学・健康科学センター長として、医学・体育の協働によるシームレスなスポーツ復帰体制の構築に力を入れている。

## 略歴

千葉大学准教授等を経て2012年12月より現職。日本整形外科学会理事長（2017年～2019年）。日本脊椎脊髄病学会常務理事（2014年～2018年）。厚生労働省特定疾患脊柱靱帯骨化症調査研究班班長（2020年～）

# 岩上 将夫 准教授

**所属** 医学医療系

**専門分野** 臨床疫学  
薬剤疫学  
遺伝疫学  
ヘルスサービスリサーチ  
ヘルスデータサイエンス  
デジタルヘルス



## — 業績 —

新型コロナウイルス感染症・ワクチンの疫学、遺伝疫学、腎臓病の疫学、デジタルヘルス等をテーマに、Lancet系、JAMA系、Nature Review系などのトップジャーナルに掲載された論文を含む、約50本/年の論文を発表している。その研究力が評価され、国際薬剤疫学会のPharmacoepidemiology and Drug Safety誌、国際腎臓学会のKidney International誌、日本疫学会のJournal of Epidemiology誌からEditorial Board memberに任命されている。

## 略歴

東京大学医学部、東京大学公衆衛生学修士課程、東京大学医学部附属病院特任助教、英国ロンドン大学修士・博士課程、筑波大学医学医療系助教を経て、令和4年5月より現職。

# 平野 有沙 助教

所属 医学医療系

専門分野 動物生理・行動



## — 業績 —

新規光遺伝学ツールを開発し長期にわたる神経操作を可能とし、筆頭責任著者としてCell Reports Methodsに発表した。このツールを用いることで、より自然な冬眠に似た人工冬眠をマウスに誘導することが可能となり、人工冬眠研究の基盤を築いた。これらの研究が評価され、第20回日本時間生物学会学術奨励賞基礎科学部門を受賞した。また、AMED革新的先端研究開発支援事業等の採択も受けている。

## 略歴

日本学術振興会特別研究員、東京大学特任助教、筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構助教等を経て、平成31年4月より現職。

# 森嶋 厚行 教授

**所属** 図書館情報メディア系

**専門分野** データ工学、データシステム、ヒューマンインザループAI



## — 業績 —

情報学におけるデータ工学分野を専門とし、世界に先駆けてクラウドソーシングプラットフォーム研究を強力に推進し、その成果は論文として発表されただけでなく、国内外の各種コミュニティと連携して現実のプロジェクトの中で活用されてきた。またICADL 2022をはじめとする様々な国際会議で基調講演を行うなど、本学のプレゼンス向上に貢献した。

## 略歴

日本学術振興会特別研究員、AT&T Labs-Research客員研究員、芝浦工業大学講師、筑波大学図書館情報学系助教授等を経て、平成25年4月より現職。令和5年4月～現在、学長補佐。



# 建部 修見 教授

所属 計算科学研究センター

専門分野 計算機システム  
高性能計算



## — 業績 —

国内の大学・研究機関のスーパーコンピュータ統合ネットワーク基盤であるHPCIの中核技術として実用に供されているGfarm分散共有ファイルシステムを設計、運用している。

また、計算機システム運用委員長として計算科学研究センターのスーパーコンピュータ及び各種計算機システムの調達・運営を行っており、同センターのシステム運用の円滑な遂行及び共同利用・共同研究拠点としての認知に多大な貢献をしている。

## 略歴

産業技術総合研究所主任研究員、筑波大学大学院システム情報工学研究科助教授、教授等を経て、平成28年4月より現職。

# 深水 昭吉 教授

所属 生存ダイナミクス  
研究センター

専門分野 機能生物化学



## — 業績 —

修飾酵素の機能と遺伝情報発現の解析に関する研究成果を中心に、4編の査読付英文原著論文を発表した。また、「タンパク質アルギニンメチル化の恒常性機能に関する研究」について、日本生化学会より生化学における顕著な研究業績を挙げた研究者を顕彰する賞である第17回柿内三郎記念賞を授与された。

AMED-CRESTプログラムオフィサー、JST創発的研究支援事業創発アドバイザー等を務め学術全体の進展にも尽力した。

## 略歴

筑波大学助手、講師、助教授を経て、平成11年7月より現職。令和4年4月～現在、生存ダイナミクス研究センター長。

# 柳沢 裕美 教授

**所属** 生存ダイナミクス  
研究センター

**専門分野** 循環器内科学  
医化学一般  
心臓血管外科学  
病態医化学



## — 業績 —

Cardiovascular Research誌をはじめとし計6編の論文を発表し、また国内外における学会にて計6件の招待講演を行った。

AMED難治性疾患実用化研究事業による受託研究等を継続し、新たに科研費基盤研究（A）が採択された。

ヒューマニクス学位プログラム等複数の学位プログラムの運営委員、生存ダイナミクス研究センター長特別補佐を務め学内運営においても多大な貢献を行っている。

## 略歴

テキサス大学サウスウェスタン医学センターアソシエイトプロフェッサー等を経て、平成26年9月より現職。令和元年5月～現在、生存ダイナミクス研究センター長特別補佐。

# 柳沢 正史 教授

**所属** 国際統合睡眠医科学研究機構

**専門分野** 神経科学



## — 業績 —

睡眠研究における研究成果と社会実装に関して世界的にも注目を集め、生命科学部門のブレークスルー賞、日本神経科学学会時実利彦記念賞、日本内分泌学会マイスター賞を受賞したほか、ベルン大学から名誉博士号を授与されるなど、その研究成果は国内外で高く評価されている。

また、本学で唯一のRS（世界先導研究拠点）である国際統合睡眠医科学研究機構の機構長及びヒューマニクス学位プログラムのプログラムリーダーとして各々の運営に寄与している。

## 略歴

筑波大学講師、京都大学講師、テキサス大学サウスウェスタン医学センター准教授、教授等を経て、平成22年4月より現職。平成31年1月～現在、ヒューマニクス学位プログラムリーダー、平成24年12月～現在、国際統合睡眠医科学研究機構長。



筑波大学  
*University of Tsukuba*

筑波大学BEST FACULTY MEMBER  
表彰制度に基づき、2022年度の  
教育研究活動において、極めて優れた  
業績を上げたと認められ、表彰された  
本学教員を紹介しています。

編集・発行／問合せ先  
国立大学法人筑波大学  
企画評価室  
TEL 029-853-2047  
Mail [ki.hyoka@un.tsukuba.ac.jp](mailto:ki.hyoka@un.tsukuba.ac.jp)